

11月6日（土）「池鯉鮒の歴史と自然の散歩みち」第4回わくわくウォーキングコースマップ

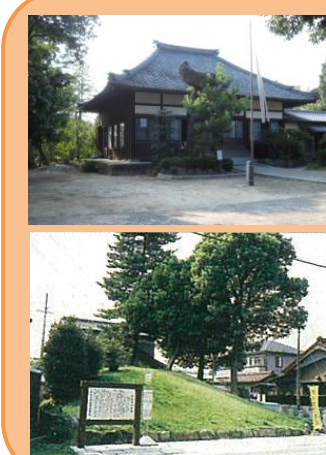
距離 約5.1km

9時15分	集合	知立文化広場 記念写真撮影 準備運動
9時30分	出発	1.8km
10時05分	① 来迎寺・一里塚	甘茶サービス
10時25分		1.2km
10時45分	② 在原寺	紙芝居上演
11時10分		0.3km
11時15分	③ 根上がりの松	
11時30分	④ 業平塚	0.3km
11時35分	⑤ かきつ姫公園	
11時50分		1.3km
12時15分	⑥ 無量寿寺	
12時25分		0.2km
12時30分	到着	知立文化広場
(流れ解散)	終了	

※時間は目安であり、実際の進行によって変わりますので、現地での案内に従ってください。

■主催：池鯉鮒散歩みち協議会
■共催：知立市観光ガイドボランティアの会
知立市健康ボランティア
知立市

～「池鯉鮒散歩みち協議会」とは～
既存の道路や河川の堤防などの歩行者空間を活用し、知立市ならではの「池鯉鮒の歴史と自然の散歩みち」をつくることを目指し、平成18年3月に設立された任意の市民団体です。
月に1回会議を開催し、「池鯉鮒の歴史と自然の散歩みち」として指定したルートの清掃活動、秋に開催するウォーキングイベントの企画、指定ルートの整備方針の検討等を、知立市との協働で行っています。



1 来迎寺・一里塚 (らいこうじ・いちりづか)
来迎寺は、寺伝によれば承平元年(931)に山城国宇治の平等院の僧が開創したとあり、一度途絶えましたが慶長のころ(1596～1615)再興され、村落名の起源になったと言われています。30年に一度開帳される如意輪観音が秘仏として祀られています。
お寺の境内には今崎城跡の石碑が建っています。永禄3年(1560)今川氏の西上に当り、城を死守した織田勢の武士たちは、屍を山にして落城したといわれています。その後、村人たちが憐れんで死者のために塚を築き葬ったと伝えられています。
一里塚は、慶長9年(1604)に徳川家康が江戸日本橋を起点にして築かせた、一里(約4km)ごとの道標で、塚の大きさは約9m四方、高さ約4mに土を盛り上げ、道の両側に作られています。



2 在原寺(ざいげんじ)
寛平年間(889～897)に業平の菩提を弔うための「業平塚」が築かれた折、その塚を守る人の御堂として創建されたと伝えられています。
一時途絶えたこともありましたが、文化六年(1809)に方巖和尚が再建しました。
本堂に十一面観音(秘仏)、薬師如来、業平木造があります。



3 根上がりの松(ねあがりのまつ)
根が2mほど持ち上がっていることから、誰いうともなく「根上りの松」と呼ばれるようになりました。
安藤広重の浮世絵「東海道名所図会」のモデルといわれています。また松の根元に「鎌倉街道の跡」の碑があります。
※松及びその敷地は個人所有です。係員の指示があるまでは、地内に立ち入らないようお願いします。



4 業平塚(なりひらづか)
業平は元慶四年(880)五月に逝去され、大和石上の在原寺に葬られました。その遺骨をこの地に葬り、そばに草庵を建て菩提を弔ったと伝えられています。
塚は宝篋印塔の形が整っていて、室町時代初期のものであろうと言われています。
地名にちなんで「五輪の塔」と親しまれています。



5 かきつ姫公園(かきつひめこうえん)
平安の頃、この付近一帯は低地になっていて、逢妻川の乱流の洲であったと伝えられています。ここには松があり、かきつばたが咲き乱れていました。
業平は東国へ下る途中、足をここにとどめて花を觀賞し、都を偲ばれ歌をよまれたということです。



6 無量寿寺(むりょうじゅじ)
名勝八橋の中心となる寺で、現在臨済宗妙心寺派に属しています。寺伝によれば奈良時代の慶雲元年(704)の創立といわれています。その後、文化9年(1812)方巖茶(ほうがん ばいさ)翁により再建が行われ、杜若庭園もこの時完成しました。
境内には八橋史跡保存館があり、八橋かきつばたの歴史と文化及び在原業平や方巖茶竹製笈(県指定文化財)など数百点の文化財が保存されています。

■説明内容及び写真の一部については、知立市観光ボランティアの平澤盛久氏にご協力をいただきました。